

# 市政ニュース

## 市長、ブラジル訪問を報告

問 秘書課 内線236

訪問日程	
5月21日	出国
22日	移動日
23日	サンパウロ
24日	モジダスクルーゼス
25日	サンパウロ
26日	リオデジャネイロ
27日	リオデジャネイロ
28日	移動日
29日	帰国

今年、「ブラジル岐阜県人会創立70周年」「岐阜県人ブラジル移住95周年」「日本人ブラジル移住100周年」という3つの慶事が重なりました。その記念事業親善訪問団の一員として、5月21日から9日間をわたり、ブラジルのサンパウロなどを訪問しました。

5月25日(現地時間)  
ブラジル岐阜県人会創立70周年記念式典  
サンパウロ市にて



南半球にあるブラジルは、日本と時差が12時間あり、地球のちよつと反対側になる大変遠い国です。しかし、当市にとって、は情動的にとても近い国だと思っています。

また、当市の現状を踏まえ、現地の日本人学校や関係機関へ表敬訪問を行い、意見交換や交流をさせていただきました。

これからはこの体験をもとに、多文化共生施策を推進していくと心新たにしたいところです。

(市長)

明治41年に、日本人781人を乗せた汽船『笠戸丸』が神戸を出航し、ブラジルのサントス港に入港してから100年、大正2年に岐阜県人がブラジルに初めて移住して95年、昭和13年にブラジル在住の県出身者からなる『ブラジル岐阜県人会』が創設されて70年が経つ今年、3千人を超える日系ブラジル人の人たちが住み、働き、そして学んでいる美濃加茂市から訪問で

きたことを大変うれしく思っております。

ブラジル岐阜県人会主催記念式典では、山田彦次会長をはじめ多くの日系人の人たちと歓談することができました。今後多文化共生施策を進め、市民一体となった積極的な地域づくりをしていかなければならないと感じました。



5月24日(現地時間)  
日本文化紹介事業(写真展、お茶着物)  
モジダスクルーゼス市にて

5月26日(現地時間)  
日本人学校視察  
リオデジャネイロ市にて



### 悪質な訪問販売などにご注意を！

市水道課・下水道課では、次のようなことは行っていません。不審に思われたときは、職員証などの提示を求め、本当に市役所の職員かどうか確認するか、すぐに市役所へお問い合わせください。

- お客様から依頼のない水質検査をすること
  - 突然訪問して、水道管の修理や配管工事契約を行うこと
  - メーターを交換して、お金をいただくこと
  - 浄水器を販売したり、あっせんしたりすること
  - 宅内排水設備の点検・清掃・修理を行うこと
  - 以上のようなことを業者に依頼すること
- ※メーターの交換は、事前に通知文を配布し無料で行っていただきます

問 水道課 内線322 問 下水道課 内線291



## 「エコバッグ ごみ減量の 第一歩」

平成19年度まちを美しくする運動推進会議環境標語  
優秀賞 山下 侑真さんの作品

### レジ袋の有料化が始まります！

9月1日から当市をはじめとする、可茂地域(美濃加茂市・可児市・加茂郡・可児郡)での「レジ袋有料化」が始まります。

ごみの減量および地球温暖化防止のために市では、レジ袋の削減に取り組んでいます。

○レジ袋の使用を削減すると次のような利点があります。

- ・ごみの減量による焼却コストの削減
- ・レジ袋製造による、化石燃料使用の抑制
- ・地球温暖化防止のためのCO<sub>2</sub>排出を削減

※レジ袋1枚あたりCO<sub>2</sub>が約50g排出されています(排出量は製造から廃棄までを含めた数値)



お買い物時には以下のことに注意しましょう。

- マイバッグなどを持参し、レジ袋を断りましょう。
- 小物はテープで済ませましょう。
- 過剰な包装は断り、簡易なものにしましょう。

問 環境課 内線307

### 刷り込み…していませんか？

シリーズ  
男女共同参画  
19

男ひとひと  
女ひとひと

子どもは、周りの大人、特に両親から、知らず知らず「男らしく」「女らしく」のイメージを刷り込まれてしまっていることがあります。

親 「おもちや屋さんで…」

子 「わたし、これがいい！」

親 「ブラレール？ 男の子じゃないんだから…。それより「この人形にしようか。ピンクのドレス着て、かわいいよ」

子 「え〜ん！」

親 「よしよし、がんばったね。」

子 「痛いよー！ うわ〜ん」

親 「そんなに泣かないの。男の子なんだから。」

どちらもありがちな場面です。こんなふうに、男だから、女だからと決め付けていることがあってありませんか。わたし自身、子どものことを聞かれると、「男の子の割に、よくしゃべるんだよ」「こっぴどくしますよ。」割には余計ですよ。

そんなわが子から、つい最近聞かれました。

子 「ママは、ピンク好き〜」

私 「うん、好きだよ。」

子 「女の子だから〜」

「女の子だから〜」の「女の子」が刷り込まれてしまったようです。

(文責) 岩田